

ファンドの価値観～Common Values(コモン バリュース)～ 今日よりよい明日を育む長期投資

今月のコモンズレター主な内容

- P2 運用状況をチェック!
- P3 コモンズ30ファンドのポートフォリオはこちらをご覧ください
- P4 こどもトラスト、企業との対話、SEEDCap情報等、コモンズの活動はこちらをご覧ください

10年前にコモンズ30ファンドが設定された時、伊井と私は真冬の風景を見ていました。そのたった1年前の株式市場の温度と比べると、2008年のリーマン・ショックという超低気圧の影響でその温度はとても低下していました。そのような最悪な環境で日本株式投信を設定する。それも、すぐに運用資金を獲得できるテーマ性もないファンドで長期的なつみたて投資を推進する。業界からは「コモンズさんは偉いですね」という声が聞こえてきました。全然、褒めている言葉ではありません。

それから10年。外辺のフリンジに立っていたコモンズは、ゆっくりと、しっかりと、業界の中心部にポジションが変わってきたと感じています。ただ、コモンズが変わったというより、創設時のこだわりを持ち続けたら、業界がシフトしたと自負しています。

金融庁の指導の下、投資信託の販売会社が公表した「比較可能な共通KPI」の運用損益別顧客比率(2018年3月末時点で含み益のある口座の比率)で、コモンズ投信は97.7%と96社の内1位でした。これはコモンズ投信の直販でご縁をいただいているお仲間の内、79%がつみたて投資の口座で長期投資を実施されているおかげです。まさに、業界トップの実績を共創した名誉です。

このKPIは昨年度末(2018年3月末)時点の比較であるという注意は必要です。現在(2月末)の数値は、株式市場の下落等により下がっています。ちなみに、全体の運用損益別顧客比率が下がっていても、2015年から設定時の2009年の7年間の間に口座を開設していただいた、ほぼ全員が現在は含み益です。逆に、これこそ、長期的な、

且つ、つみたて投資の魅力です。

毎月のつみたて投資を継続すれば、値が安い時には口数をよりたくさん買えて、逆に上がったときには買う口数は減ります。こうした買い方を短期的な変動はあっても長期的にみれば上昇しているような商品を長期で続けることで期待できる好効果です。

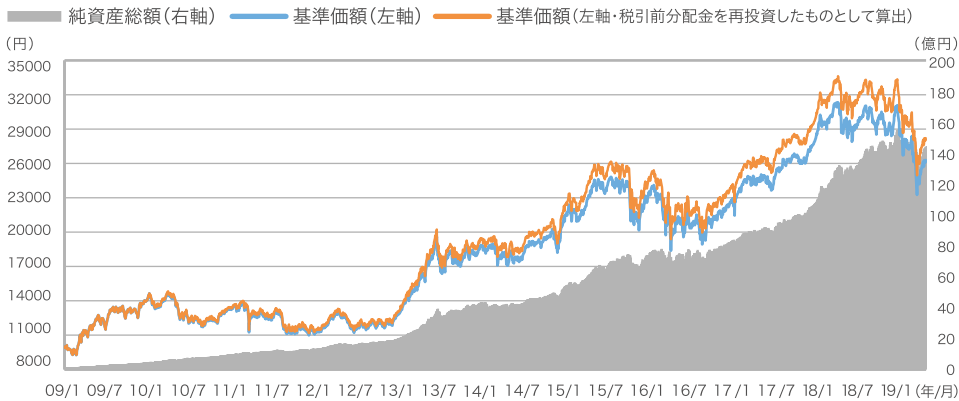
渋澤と伊井の「今月の想い」



コモンズ投信株式会社
取締役会長
渋澤 健

※隔月で伊井、渋澤が執筆いたします。

■ 基準価額の推移



■ ファンドのデータ

(2019年2月28日付)

基準価額	26,608円
純資産総額	14,944百万円

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30ファンドの費用」をご覧ください)。
 ※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により減減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.0584%(消費税込)です。
 ※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

■ 基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

(2019年2月28日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
1.03%	▲4.97%	▲10.00%	▲10.28%	35.54%	51.76%	192.51%	185.58%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

■ 分配実績(1万口あたり、税引前)

第6期 (2015年1月19日)	第7期 (2016年1月18日)	第8期 (2017年1月18日)	第9期 (2018年1月18日)	第10期 (2019年1月18日)	設定来累計
220円	0円	240円	250円	0円	1,360円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。
 ※当ファンドは2019/1/18に第10期目の決算を迎えました。分配金は0円とさせていただきます。10期目の決算を迎えられましたことに、改めて心から感謝と御礼を申し上げます。

■ 運用状況 (組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。)

◎運用レビュー

2月のファンドの月間リターンは1.03%の上昇となりました。

◎2月の個別銘柄リターン

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「資生堂(+13.48%)」、「カカコム(+12.45%)」、「シスメックス(+10.78%)」となりました。

資生堂は、米中貿易摩擦に対する懸念がやや後退したことが材料視されました。カカコムは、第3四半期決算(10-12月期)で順調な業績の進捗が確認できたことが好感されました。シスメックスは、第3四半期決算(10-12月期)は前年同期比で減益となったものの、過度な業績悪化懸念は後退したことから株価は上昇に転じました。

下位3銘柄は、「クボタ(▲12.34%)」、「クラレ(▲10.59%)」、「味の素(▲10.47%)」となりました。クボタとクラレは、世界経済の減速の影響を受けて2018年12月期通期決算が会社計画に届かなかったことなどが嫌気されました。味の素は、海外食品事業における減損損失計上を受けて2019年3月期の通期予想を引き下げたことから株価は下落しました。

アナリスト 原嶋 亮介

◎運用責任者メッセージ

2月の内外金融市場は、1月からの反発局面が継続しました。特に、年初からの米国株、2月の中国株(上海総合指数)の反発は大きなものとなりました。この反発は、米中通商協議の進展が期待されたことによると思われます。

こうした環境下、国内株式市場も先月に続いて2ヵ月連続の上昇となりました。国内企業業績にピークアウト感が出ている中、為替市場でのドル円レートが110円を超えてきたことも株価への支援材料となっています。

当ファンドは、市場全体の戻りに比べやや低調な状況となりました。組入銘柄30社中12社の株価が月間騰落率でTOPIX(東証一部株価指数)配当込の2.60%を上回る上昇となりました。値上がり率上位には、資生堂、カカコム、シスメックスが続きヘルスケアや内需関連が堅調でした。逆に値下がりの大きかった銘柄は、クボタ、クラレ、味の素となり、10-12月期の決算内容が悪かった銘柄が並びました。また、ポートフォリオ全体としては、米中通商協議やブレグジット(英国EU離脱)の行方が不透明であることから現金比率を少し高めた慎重なスタンスでの運用を続けています。引き続き、不確実性の高い市場環境が続くことを想定し、本質的な企業価値への定点観測を丁寧に続けて参ります。ご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◎投資委員会メンバー

○伊井哲朗、渋澤健、上野武昭、末山仁、原嶋亮介 / ○は最高運用責任者

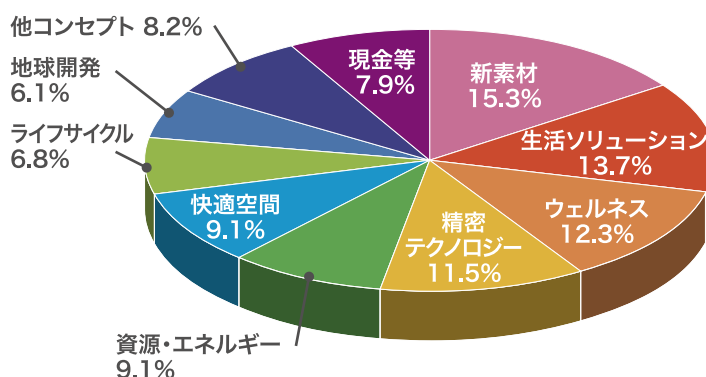
ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
株式	92.1%	▲2.1%
現金等	7.9%	+2.1%
構成銘柄	30社	±0社

●ポートフォリオの構成比と未来コンセプト別構成比に関しては、マザーファンドについての記載となります。

未来コンセプト別構成比

(2019年2月28日付)



組入上位10銘柄

(2019年2月28日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	3.7%
4755	楽天	生活ソリューション	強烈な成長意欲で、アジアを代表するインターネット企業	3.7%
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.7%
8113	ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.6%
2371	カカココム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.6%
4523	エーザイ	ウェルネス	患者家族まで心を配る徹底したステークホルダー経営	3.5%
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.5%
9064	ヤマトHD	生活ソリューション	「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ	3.4%
3407	旭化成	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業転換を続ける伝統企業	3.4%
6367	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる	3.2%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

新規組入投資先

なし

今月のピック!

2月は日立製作所の株価が▲2.29%となりました。米中貿易摩擦やブレグジットの動向など、外部環境の不透明要因が嫌気され上値が重い展開となりました。2月1日発表の第3四半期決算では、好調な情報通信事業やこれまで苦戦してきたオートモーティブ事業の収益性改善が確認されるなど概ね良好な決算となり、第3四半期累計の連結調整後営業利益は過去最高を更新しました。2018年度通期でも過去最高を達成する見通しです。注力分野のインフラ事業において、2018年12月にパワーグリッド(電力送配電)事業の買収、2019年1月には風力発電事業強化を目的とした欧州企業との業務提携拡大、英国原子力発電所建設プロジェクトの凍結、など矢継ぎ早に事業の集中と選択を進めています。IoTプラットフォームである「Lumada」事業も順調に進展しており、日立の他社にない強みである「IT×OT (Operational Technology)×プロダクト」の強化が順調に進捗しています。

シニア・アナリスト 末山 仁

企業との対話

コモンズ30塾統合レポートワークショップ～投資先企業デンソーをお迎えして～

2月4日(月)、コモンズ30ファンド投資先企業デンソーをお招きし、統合レポートワークショップを開催いたしました。

統合報告書2018はこちら <https://www.denso.com/jp/ja/investors/library/annual-report/>
デンソーとの統合レポートワークショップは2017年11月に名古屋で開催して以来、2回目です。

この日は、株式会社デンソーの杉浦グローバル戦略部長はじめ、グローバル戦略部から6名ご参加いただきコモンズ流対話に臨んでいただきました。



1949年に設立されたデンソーは、2019年に設立70周年を迎えられます。2017年度には売上が5兆円を超える、グローバル自動車部品メーカーにまで成長されました。一方、自動車業界は今、100年に1度の大変革期に直面しており、まさにパラダイムシフトが起きており、自動車、モビリティ社会において、電動化、自動運転、コネクティッド、シェアリングといった、今までに無かった新たな動きが、物凄いスピードで進行しています。その中で、会社として何を大事にして事業に取り組んでいくべきかを考え、「地球に、社会に、すべての人に、笑顔広がる未来を届けたい。」という長期ビジョンを策定されました。

杉浦さまのお話はこちらでご紹介しております。 <https://park.common30.jp/2019/02/1.html>

お話の後は、早速グループに分かれてのワークショップです。

このワークショップでは、Q1.企業理念の内容が具体的か、視覚的にもわかりやすいか。Q2.企業の代表者による投資家へのメッセージについて、全体の流れやわかりやすさはどうか、といった観点でチェックシートを使いながら話し合いが進みます。

今回多くの話題に上ったのが、有馬社長のトップメッセージにあった「社会のみなさまに 心の底から共感していただける会社となるために、デンソーは生まれ変わります。」という部分でした。「生まれ変わる」という言葉に、時代の変化の中で更なる飛躍に向けて力強く歩む決意が窺われます。

ワークショップでは、デンソーの皆さまにも加わっていただき、こうしたトップメッセージについて、全体の構成について、役員の写真、といった細部にいたるまで様々な観点から意見交換が行われました。

コモンズ流対話とは、投資先企業の「見える化」につながり、そしてお互いの「気づき」が価値共創につながるというものです。

ご参加頂いた皆さまから頂戴した感想でも、「プレゼンされたデンソーのグローバル戦略部長は素晴らしかったと思います。謙虚で人の話に真剣に耳を傾け、慎重に言葉を選びながらも誠実に語られ印象的でした。デンソーのDNAが垣間見れました。」といったものや、「今後の日本・世界を背負って立つ企業になってください。次のレポート楽しみにしています。」といった今後への期待の声が多く寄せられました。

マーケティング部 福本 美帆

コモンズSEEDCapからのお知らせ

度重なる児童虐待事件。そして先日起こった児童養護施設の施設長殺害。

この国において困難な環境下にある子どもたちに関する悲しい事件が今、次々と起きています。

そこで、コモンズSEEDCap第7回応援先の認定NPO法人3keys代表 森山さんが現代ビジネスの連載にて、大人や支援機関が、子どもに寄り添う上で知っておくべき虐待のことを書かれていますので紹介します。

現代ビジネス 連載【多発する児童虐待事件…「親・保護者＝善人」の思い込みはリスクだ】

<https://gendai.ismedia.jp/articles/-/60086?fbclid=IwAR3FC33V22yrAZBL4WB13aBZPSEcoqFiceTm5JxxrLu3GuWSIs6orDohKis>

(以下、森山さん)毎年80～100人もの子どもの命が奪われていて、年間13万件にも及ぶ虐待通報。そして多くの場合、子どものSOSは大人によってかき消されてしまっているかも知れません。子どもを守るために、「思い込み」がいかに弱者である子どもを傷つけうるか、考える機会がいま必要だと思い、書きました。ひとりでも多くの子どもたちが安心して「助けて」といえる社会にするには、大人ひとりひとりの力が必要です。

コモンズSEEDCapについて <https://www.common30.jp/fund30/seed>

3keysについて <https://3keys.jp/>



SEEDCap 担当 馬越 裕子

お客様の声

セミナー参加者からいただいたお声を紹介します。

コモンズ30塾統合レポートワークショップ投資先企業 デンソーをお招きして



直接お話が聴けた事、とても嬉しかったです。コアとなる技術や文化を土台に今後の成長も期待が出来て楽しみです。BtoBなのでイメージがわからない点もたくさんあるのですが、完成車メーカーさんとの関係性や社風なども感じられるとストーリーとして共感できたかと思えます。

デンソー社の方々が多勢でわざわざ参加してくださり、会社の誠実さが伝わってきました。役員写真も本日いらした方々もみなSDGsのバッジをつけられていたのも印象的です。全社的な取り組みの意志でしょうか。



コモンズのアナリストに聞いてみよう!



アナリストの方の意見は勿論、他の聴講者の方の質問からも学ぶことが出来、勉強になりました。企業とどのように対話しているかについてのお話は興味深かったです。

ロボットのテーマをきっかけに質問対応にも丁寧に答えてくださって興味深かった。銘柄選定の基準について具体的に聞いて面白かった。



はじめてのコモンズ



会社の理念やつみたてについての考え方がよくわかりました。

説明がわかりやすかった。「長期・積立・分散」はよく聞かすが、ピンときていなかった。具体的な説明により理解が深まった。



Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。

<https://www.common30.jp/seminar/>

セミナー名		日付	時間	場所
コモンズ投信 10周年コモンズフェスタ	【京都】	3月16日(土)	13:00~17:00	国立京都国際会館(京都府京都市)
	【東京】	4月6日(土)	13:00~17:40	SMBCホール(東京都千代田区)
はじめてのコモンズ(ファンド説明会)		3月7日(木)	19:00~20:30	コモンズオフィス(東京都千代田区)
		3月13日(水)	19:00~20:30	
		3月20日(水)	19:00~20:30	
	【お子様連歓迎】	3月21日(祝・木)	10:30~12:00	
	【お子様連歓迎】	3月22日(金)	13:30~15:00	

販売会社一覧

販売会社名称	登録番号	加入協会					つみたてNISA取扱
		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物 取引協会	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第578号	○	○			○
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第50号	○				○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金)第2号	○				○
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第43号	○	○			
株式会社栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第57号	○				○
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第36号	○	○			○
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第633号	○				○
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長 (登金)第1号	○	○			○
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第52号	○	○	○		
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○			○
静銀ティーム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○				●
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金)第7号	○	○			●
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金)第6号	○				●
株式会社親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金)第3号	○				●
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第10号	○	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○	○			○
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第142号	○	○	○	○	●
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第1977号	○				●
FFG証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長 (金商)第5号	○				●
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第56号	○				●
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第7号	○	○			
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金)第3号	○				
tsumiki証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第3071号	○				○
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第134号	○				
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第61号	○	○			○
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第624号	○	○			○
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金)第6号	○	○			

●はつみたてNISAのみ

■ コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしく願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

<p>価格変動リスク</p>	<p>当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。</p>
<p>流動性リスク</p>	<p>有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。</p>
<p>為替変動リスクおよび カントリーリスク</p>	<p>外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。</p>

■ その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

コモンズ30ファンドの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年税込1.0584%(税抜0.98%)を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2009年1月19日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見直し等は作成日時時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご確認のうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日 9時~17時)
03-3221-8730

■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>